

5年 友達を理解しながら

内容項目 B 友情、信頼

教材名 「絵地図の思い出」

本時のねらい

係の仕事で男女ともに協力する児童の姿を通して、男女に関わりなく友達と助け合うためにはどうすればよいのか考えさせ、異性とも協力し学び合って互いに理解し合いながら、友情を育てていこうとする実践意欲と態度を育てる。

子どもの学習活動

- 自分のクラスでは、男女仲良く過ごさせているか考える。

男女にかかわりなく、友達と助け合うためには、どうすればよいのだろう。

- 「絵地図の思い出」を読み、都が正志に絵地図を書くのを頼んでみようと言ったとき、「わたし」は、どんなことを考えたのかを出し合う。

男子にお願いするのは嫌だな。

断られるんじゃないかな。

なんか恥ずかしい。

別の女の子に頼めばいいのに。

- 正志の照れくさそうな顔を見たとき、「わたし」は、どんなことを考えたかを出し合う。

男子に頼むのも悪くはない。

正志さんに頼んでよかったな。

正志さんは、意外といい人だったな。

- 「わたし」は、どうして「今年の遠足は、とても思い出深いものになりそう」だと思ったのかを考える。

男子も女子も、力を合わせることができたからかな。

前よりも、みんなで協力して取り組めるようになったからかな。

団結する力が高まったからじゃないかな。

男女関係なく友達と協力するにはどうしたらいいのかな？

- 「つなげよう」を読み、男女関係なく友達と協力し、学び合えていると思うときはどんなときか、またその時の気持ちを考える。

宿泊学習の時に、力を合わせたよ。

授業の話し合いで、意見を出し合っているな。

給食当番とか掃除とかで協力しているよ。

一緒にやっているとな楽しい気持ちになる。

〇〇君が頑張っているなって思ったよ。

男女とか、気にしないで取り組んでいたな。

男女に関わりなく異性とも協力する気持ちを大切にして、よりよい関係を築いていこう。

- 振り返り用紙に記入する。

[子ども一人一人の学びが深まった姿]

男女に関わりなく、友達と助け合う経験やその時の気持ちを想起させることで、異性とも協力して学び合って、互いに理解しながら友情を育てていこうとする意欲をもつようになる。

セルフチェック1

(興味・関心・疑問をもてる)

本時の学習に関する興味を引き出すために、テーマについて普段の生活で感じたことや経験を交流する場を設定する。

セルフチェック5 (多面的、多角的に考察)

「男女に関わりなく協力すること」を多面的にとらえられるように、協力することを嫌がる気持ちと、協力するよさに気付く気持ちとを、対比して板書に位置付ける。

セルフチェック4

(協働して活動)

自らの経験やその時の気持ちを、より多く想起できるようにするために、少人数で話し合う場を設定する。

【評価】

男女に関わりなく助け合う経験やその時の気持ちを想起し、異性とも友情を育てていこうとする意欲をもつ。
(記述、発言)